

国際化学肥料ニュース（2022年3月）

肥料業界の2022年3月動態

- * 3月4日、ロシア政府工業と貿易省はロシア肥料メーカーに対して化学肥料の輸出を一時全面停止するよう要請した。これはロシアのウクライナ侵攻に伴い、西側の経済制裁に対する反撃の一部だと取られている。3月に入ってからロシアの肥料メーカーは尿素、リン安（MAPとDAP）、塩化加里などのオファーの提示を止めた。

- * ノルウェーのYara社はヨーロッパでの記録的な高天然ガス価格に対応するため、イタリアのFerraraとフランスのLe Havre 2工場でのアンモニアと尿素的生産量を一時的に減らすと発表した。FerraraとLe Havre工場の合計生産能力は年間アンモニア100万トンと尿素90万トンである。生産能力を55%削減する見込みである。

- * イスラエルのICL社は中国側と2022～2024年の塩化加里輸入基本契約を締結した。2022年の供給量70万トン、価格がCFR中国590ドル/トン、2月15日にカナダのCanpotex社が中国との2022年塩化加里輸入基本契約と同じである。

- * ハンガリーのNitrogénmuvek社は、ロシアのウクライナへの侵攻が異常な状況を生み出し、ヨーロッパの天然ガス価格の高騰により、アンモニアの生産を一時的に停止したと発表した。Nitrogénmuvek社はハンガリー最大の窒素メーカーである。

- * 3月第2週（3月7日～13日）の尿素国際価格が急騰して、昨年10月初めに記録した最近の高値を超え、記録上週単位で最急激な値上げ幅である。これは天然ガス価格の高騰を見越して、ヨーロッパの窒素メーカーが大幅な減産を実施する可能性があり、買手が世界中に化学肥料を買い集めているためである。
エジプト産尿素的FOB価格が1100ドル/トンに達し、前週より200ドル/トンも高くなっている。中東湾岸産尿素的FOB1000ドル/トンに達した。需要国の価格もそれに応じるように上昇した。CFRアメリカとブラジルが1000ドル/トン近く上昇し、CFRメキシコ西海岸が1000ドル/トンを超えた。市場関係者は尿素的価格が過去の記録を破ることも予測している。

- * アメリカ農務省（USDA）はロシアによるウクライナへの侵攻の影響や競争の激化など肥料コストの上昇に対応するために、独立した革新的で持続可能なアメリカの肥料産業に総額2億5000万ドルの追加支援プログラムを発表した。プログラムの詳細は2022年の夏に発表され、2022年末までに補助金を支給する予定である。

- * ロイター通信によれば、3月12日ウクライナ農業省はロシアの侵攻によりウクライナ産すべての肥料の輸出を禁止すると発表した。輸出禁止令は強制的と一時的なもので、目的は国内農業需要を満足し、ウクライナと世界に食糧危機の発生を予防するものである。3月11日ウクライナのゼレンスキー大統領はロシアの侵略にもかかわらず、この春、できるだけ多くの作物を栽培する必要があると述べた。

ウクライナは世界最大のヒマワリ油の輸出国と主要な穀物輸出国である。侵略前に、2021年7月～22年6月のシーズンに3300万トンのトウモロコシと2300万トンの小麦を含む6000万トン以上の穀物を輸出できると予測していた。ウクライナ農業省は、侵略の前日2月23日までの2021～22年シーズンにすでに4300万トンの穀物を輸出したと述べた。ロシアの侵攻を受けてから、ウクライナはすでに一部の農産物の輸出を禁止しており、主要な輸出品である小麦、トウモロコシ、ヒマワリ油の輸出ライセンス制を導入している。

- * インドからの情報によれば、インドは2022～2026年の5年間にネパールに56.5万トン尿素と37万トンDAPを提供する覚書に署名した。ネパールは国内に肥料産業がなく、すべての化学肥料が輸入に依存している。

- * ロシアのプーチン大統領は政府会議にロシアと友好関係の国々に化学肥料を継続的に供給する意思があると表明した。プーチン大統領は「まず国内農家にすべての肥料需要を満たさなければならない。ただし、ロシアに資源があり、友好国に輸出する用意がある」と述べた。

- * 天然ガス価格の高騰に加え、ロシアもウクライナの侵攻で約30万トンの輸出が止まっているため、東南アジアを除き、スエズ運河より西半球のアンモニア価格が強い上昇の勢いを保っている。

3月第3週（14～20日）はノルウェーのYara社はバルト海からそれぞれスポット価格FOB1550と1600ドル/トンでアンモニアを契約し、BASFはCFR1525ドル/トンでリビアのスポットアンモニアを収集し、モロッコのOCP社はアルゼンチンのProfertol社からFOB1500ドル/トンで1.5万トンアンモニアを購入した。サウジアラビアのSABIC社は前週より132ドル高いFOB1232ドル/トンで2.5万トンアンモニアを販売した。

ただし、東南アジアではアンモニア価格の上昇が抑えられている。マレーシアのPetronas社は4月販売のアンモニアがFOB1000～1050ドル/トンで、インドネシアのKALTIM社は長期顧客の三井物産にFOB980ドル/トンでアンモニアを販売している。

第 2 四半期に供給逼迫状況が緩和される可能性は低いため、近い将来、インドと北ヨーロッパの定期的なスポットバイヤーが市場に戻ると、新たな価格上昇圧力が発生するだろう。

* 中国税関統計によれば、2022 年 1~2 月中国化学肥料輸出量が 27.8%減の 254.6 万トン、そのうち硫安輸出量 159.9 万トン、62.8%を占めている。1 月の主要化学肥料輸出量は硫安 95.8 万トン、尿素 8.5 万トン、DAP25 万トン、MAP5.3 万トン。2 月の主要化学肥料輸出量は硫安 64.1 万トン、尿素 15.2 万トン、DAP11.4 万トン、MAP4.8 万トン。中国政府の「法定検査」により 1~2 月の尿素輸出量が 55.5%、DAP 輸出量が 8.9%、MAP 輸出量が 74.0%減少した。

一方、2022 年 1~2 月中国化学肥料輸入量 160.3 万トン、その内訳は塩化加里 146 万トン、NPK 化成肥料 13.2 万トン、その他の加里肥料 1.1 万トン。

* 3 月第 3 週（14~20 日）の尿素国際相場は史上最高値を更新した。西側の貿易業者はロシアのウクライナ侵攻によりロシア産尿素の購入を抑制するうえ、バルト海のロジスティクスと出荷への影響も尿素の荷動きに悪影響を及ぼしている。従って、他の地域の尿素に争奪戦となり、昨年末に見られた高値をはるかに上回っている。

エジプトの生産者は尿素の 4 月出荷分について、前週より 30 ドル高い FOB1050 ドル/トンを要求している。EU の尿素生産は依然としてガス価格の高騰の脅威にさらされて、オフショアのアンモニア輸入コストも急騰した。西側市場はますますピーク需要シーズンに近づき、インドもまた新たな尿素入札で復帰する予定であるため、ロシアからの尿素貿易停滞による混乱は数か月の間に収まる可能性が低いようである。

* 中国政府は国の加里備蓄から 100 万トンを市場に放出することを発表した。1 月から中国の加里価格が急騰し、すでに 2008 年に樹立した最高値を超えた。中国の国家加里備蓄は 150 万トンであるが、高騰した加里市場を抑えるため、やむなく備蓄の加里を放出する訳である。

* 3 月 11 日、ブラジル政府は国家化学肥料計画を発表した。民間資金を利用して現存の肥料工場を改造・改良して、生産性を高め、コストを下げるほか、新しい工場の建設にも投資して、国内生産量を引き上げ、輸入への依存を減らす内容である。ただし、政府が直接に財政援助をしない。ブラジルは世界 4 番目の化学肥料消費大国で、80%の化学肥料は輸入に依存している。

* 3 月第 4 週（21~27 日）の尿素国際相場が高値のままで落ち着いている。しかし、ロシアからの供給は依然として途絶えており、市場のセンチメントは依然として強気であ

る。東南アジアと北アフリカでは、生産者の 4 月出荷分の売上が順調であるが、4 月にインドの尿素国際入札がある噂があり、ほとんどの生産者とトレーダーは入札に先立って意思決定を後延ばしている。西半球では、アメリカとブラジルの CFR 価格が 1000 ドル/トンを超え、アルゼンチンは 1050 ドル/トンになった。ただし、アメリカは春シーズンに必要な肥料がほぼ手配済みで、ヨーロッパだけが天然ガス価格高騰で、肥料不足が問題となっている模様。尿素市場の緊迫局面が数か月続くだろう。

- * 3 月第 4 週 (21~27 日) のアンモニア国際相場が高値が続いている。制裁によりロシアから月間約 30 万トンアンモニアの輸出が停滞して、従来のサプライチェーンに広範な混乱を引き起こし、ほとんどの地域で価格上昇圧力を生み出した。

ノルウェーの Yara 社はアメリカの Mosaic 社に 4 月積み荷の CFR 価格が 1625 ドル/トンで決着した模様、前年同期の 545 ドル/トンのほぼ 3 倍である。また、アメリカの Mosaic 社は同じアメリカの Trammo 社との 3 月の契約が CFR1135 ドル/トンであるが、4 月の契約価格が発表せず、多分さらに上がるだろうと推測されている。モロッコの OCP 社はスポット市場で非常に活発であり、南北アメリカとインドネシアで 4 月入荷分のアンモニアを購入した。

ただし、韓国、台湾、中国のユーザーから需要の大幅な減少により、中東では価格が安定して、アンモニアの余剰が発生した。また、サウジアラビアの Ma'aden 社は 3 が月後に巨大な輸出志向型アンモニアプラントが完成する予定で、価格の変動が緩和され始めるはずである。

- * ベトナムからの報道によれば、ロシアによるウクライナへの侵攻の影響で、化学肥料の国際相場が急騰し、ベトナム国内の肥料価格も大幅に上昇した。ベトナム政府は化学肥料の輸出を一時停止することを考えている模様。2021 年、ベトナムの化学肥料輸出量が 135 万トン、史上最多であるが、2022 年 1~2 月の 2 か月だけですでに去年同期より 69.9%増の 35.3 万トンを輸出した。ベトナムの化学肥料輸出は主に尿素と少量のりん酸肥料 (DAP、過リン酸石灰など) で、最大輸出先はカンボジア、次いでミャンマー、フィリピン、韓国である。

- * 3 月第 5 週 (28~4 月 3 日) の尿素国際相場は高値安定している。関係者はインドの尿素国際入札の発表されることを期待しているため、購買活動は鈍化している。しかし、多くの生産者は 4 月下旬までの製品をすでに売却したことで余裕がある。中東では、先週と同じ FOB950 ドル/トンで売り出している。北アフリカでは、先週より高い FOB 1150 ドル/トンを要求している。

関係者はインドがロシア産尿素を購入するか否かに関心を寄せている。ロシア尿素を購入すれば、尿素の国際相場を引き下げる効果を期待するためである。しか、ロジステ

イクスは依然としてロシア尿素ビジネスの主要な障壁である。さらに、経済制裁に関連するリスクを恐れて、ビジネスを試みることを思いとどまる可能性がある。

- * ヨーロッパの窒素肥料メーカーは硝安及び尿素硝安液肥の価格を引き下げる動きがある。主に天然ガス価格が高騰したときに設定された価格を修正するためである。昨年末には天然ガスの価格高騰で、メーカーは硝安などの硝酸態窒素肥料の出荷価格を高めに設定したが、それ以来、天然ガス価格は低水準で比較的安定している。価格が高いことで、ヨーロッパでは硝安（AN）と硝酸カルシウムアンモニウム（CAN）の需要が低迷している。

イギリスでは、CF インダストリーズ社は今週、硝安の出荷価格を 905 ポンド／トンから 775 ポンド／トンに引き下げた。ドイツでは、Yara 社は硝酸カルシウムアンモニウムの価格を 880～930 ユーロ／トンに引き下げた。OCI 社も Yara 社と同様の価格で硝酸カルシウムアンモニウムを販売する。フランスでは Yara 社は硝安の価格を 890～895 ユーロ／トンに引き下げた。Borealis 社も同様の価格で提供している。Yara 社は 3 月 9 日に提示した硝安の価格が 1205 ユーロ／トンに比べ、大幅な値下げである。

大手各社の営業業績

肥料資源の探索と肥料プラント新規建設

- * ブラジルの Brazil Potash 社は計画している Autazes 加里プロジェクトの加里生産能力を年間 244 万トンから 500 万トン以上に引き上げることを政府の農業大臣に提案した。Autazes 加里プロジェクトはアマゾン川の先住民地域にあるため、環境問題で 5 年以上も延期された。しかし、ベラルーシに対する経済制裁とロシアによるウクライナへの侵攻での制裁により、加里の国際相場が大きく上昇した。肥料輸入への依存を減らすために、ブラジルのボルソナロ大統領は、すぐに加里鉱床を採掘する必要があると述べ、先住民の留保地での採掘を許可する法律を推進した。
- * 南アフリカの Kropz 社は Elandsfontein リン鉱山採掘プロジェクトからリン鉱石精鉱の生産を開始し、2022 年 3 月下旬から地元の顧客に販売開始すると発表した。Elandsfontein プロジェクトは、Elandsfontein プロジェクトは総投資額 1.6 億ドル、年間 31%P₂O₅ のリン鉱石精鉱 100 万トンを生産する能力があり、2021 年第 4 四半期に試運転を開始した。
- * サウジアラビアの Ma'aden 社は Ras Al-Khair 市にある新しいアンモニア専用バースが完成し、最初のアンモニア貨物の積込を完成したと発表した。Ma'aden は 7 隻のアンモニア専用輸送船を有し、年間 200 万トンのアンモニアを輸送する能力を持っている。

- * ロイター通信は、ナイジェリアの億万長者 **Aliko Dangote** 氏所有の **Lekki** 尿素工場が完成し、製品がすでにアメリカ、インド、ブラジルなどに出荷されていると報道した。**Lekki** 尿素工場はラゴス州 **Lekki** 市にあり、総投資額 25 億ドル、年間 300 万トン尿素の生産能力を有する。ナイジェリアは豊富な石油と天然ガス資源があり、すでに **Notore** 尿素工場とシンガポール系の **Indorama Eleme Petrochemicals** の尿素工場がある。
- * アルジェリアの **ASMIDALC** 社と **MANAL** 社が中国の **WUHUAN** 社と **TIAN'AN** 社の 4 社合弁で新しい会社を設立して、アルジェリアのりん資源を開発し、リン酸肥料を生産する。合弁会社は **ACFC** 社で、アルジェリア側が 56%、中国側が 44% の株式を所有する。約 70 億ドルを投資して、**Bled El Hadba** りん鉱山の開発、**OuedKéberit** りん酸プラントと **Hadjar Soud** 肥料プラントの建設および **Annābah** 港に専用港湾設備の建設など、年間りん酸肥料生産能力 540 万トンの一大プロジェクトを計画する。
- * ウズベキスタンの **Ferkensco Management** 社と **Enter Engineering Pte** 社はスイスの **Casale SA** 社とウズベキスタンでアンモニアベースの肥料プラントの建設協定に署名した。この窒素肥料プロジェクトはウズベキスタン **Yangiyer** 市で年間生産能力あんにあ 49.5 万トン、尿素 59.4 万トンの肥料工場を建設し、推定投資額 5 億ドル、2025 年上半期完成し、稼働始まる計画である。

その他

- * ロイターの報道によれば、ブラジルのペトロブラス社は所有の窒素肥料プラント **UFN3** をロシアの **Acron** 社に売却する契約を変更または廃棄する意思がないという。**UFN3** プラントは建設中で、完成後年間 80 万トンアンモニアと 130 万トン尿素を生産する計画である。
- * 3月9日、オーストリアの **Borealis** 社はロシアの **EuroChem** 社からの窒素事業買収の提案を拒否した。その理由は EU のロシアに対する制裁リストに **EuroChem** 社が入っているためである。そのに伴い、**EuroChem** 社から派遣された取締役 1 名も辞任した。**Borealis** 社は西ヨーロッパに年間 500 万トンの化学肥料を販売している。
- * ノルウェーの **Yara** 社は 3月9日に実施された EU のロシアに対する追加制裁の結果として、ロシアの制裁対象物および個人に関連するサプライヤーからのすべての調達を停止すると発表した。**Yara** 社は現在、制裁の詳細な範囲と影響を検討している。

また、Yara 社は、顧客への供給を継続し、食品サプライチェーンの継続性を確保することを目的として、ロシアへの依存を減らすためグローバルな生産システムを活用すると述べている。

- * ロイター通信によれば、南米 6 か国（ブラジル、アルゼンチン、ポリビア、チリ、パラグアイ、ウルグアイ）はロシアに対する経済制裁から肥料を除外することを提案している。ブラジルの農業大臣は、FAO（国連食糧農業機関）に提出されるこの提案は、肥料の不足が食糧インフレを引き起こし、食糧安全保障を損なう可能性があることを指摘し、この問題の世界的な解決策を見つけるよう各国に呼びかける。また、他の国連加盟国に提案を支持するよう説得するために、FAO から十分な支援を得ることを望んでいるという。

ブラジルの大統領は、ロシアによるウクライナ侵攻の数日前にモスクワを訪れ、ロシアの肥料供給とブラジル産牛肉の販売について話し合った。

- * カナダ鉄道労働組合 Canada Rail Conference (TCRC) と鉄道会社 Canadian Pacific Railways (CP Rail) は、労使交渉が決裂することによりストライキが起きる可能性がある。カナダの肥料会社は、ストライキによる鉄道輸送の停止を回避するために迅速に解決するよう呼びかけた。労使交渉が不調の場合、3月16日の深夜にストライキを設定している。カナダで生産されている肥料の75%は鉄道で運ばれている。

- * カナダ鉄道労働組合 Canada Rail Conference (TCRC) と鉄道会社 Canadian Pacific Railways (CP Rail) の労使交渉が決裂した。3月20日からストライキを行い、参加する労働者が約3000名で、多くの鉄道輸送が停止し、塩化加里などの輸出に影響が出た模様。